

令和7年度 第1回京丹波町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和8年2月20日（金） 午後1時30分～午後3時25分
- 2 開催場所 京丹波町役場 防災会議室
- 3 出席者 (1) 構成員 6名
畠中源一町長、松本和久教育長、片山幸男教育長職務代理者
山根里香委員、亀田奈津子委員、出野美生子委員
※欠席した委員 田原良英委員
(2) 事務局 7名
・総務課
田中課長、徳島課長補佐
・教育委員会
岡本教育次長、四方学校教育課長、西山社会教育課長
長尾総括指導主事、野口学校教育係長
(3) 説明者 3名
寺本瑞穂中学校長、船越和知中学校長、木村和知小学校教頭
- 4 傍聴者 6名
- 5 会議の概要
 - (1) 開会あいさつ
畠中町長が、会議開会にあたってのあいさつを行った。
 - (2) 協議事項
 - ア 令和7年度瑞穂中学校における取り組みについて
瑞穂中学校における総合的な学習の時間（課題解決型学習）における「きょうと明日へのチャレンジコンテスト」に向けた取り組みについて、寺本瑞穂中学校長から報告された。（報告後退席）
 - イ 令和7年度教育委員会事業報告について
令和7年度における教育委員会の取り組みについて報告した。
学校教育の取組報告について（四方学校教育課長、長尾総括指導主事説明）
社会教育の取組報告について（西山社会教育課長説明）

ウ 和知地域における学校のあり方について

松本教育長から、和知地区京丹波町立小中学校のあり方検討委員会における検討の経過及び方向性について説明した後、岡本教育次長から、検討委員会から提出された答申の内容について説明した。

次に、船越和知中学校長から、和知地区における小中一貫教育校のイメージ(案)について説明された。

エ 質疑、意見交換

構成員により、和知地区における学校のあり方について、質疑、意見交換を行った。概要は以下のとおり。

- 【委員】基本的には賛成の立場で話すと、中学校が小学校と一緒にすることについて、中学校から見た場合にメリットが少ないのではと感じる方が一定数あり、アンケート結果でもそれが表れている。逆に小学校から見た場合、自分の将来の姿を目の前で見ることができる、中学生が身近に居ることは大きなメリットであると思う。少子化が進んでいる中で、単に一貫校にするということではなく、従来の6年、3年の区切りから、4年、3年、2年を区分とした系統的な学びを構築し、地域の良さを生かした和知にしかない小中一貫校が作れたら素晴らしいと思う。
- 【委員】小学生の保護者と中学生の保護者では、視点が違うこともあり、当然意見も違ってくると思う。これらの意見を集約することは大変だったと思うが、地域の方や色々な立場の方の意見を取り入れていただき、良い小中一貫校ができれば良いと思う。
- 【委員】和知地区は伝統文化が豊かな地域であり、和知地区に学校が残ることは嬉しい。はじめは、施設分離型の小中一貫校は意味があるのかと思ったが、一貫教育校のイメージを聞き、納得できる部分があった。他の委員も言っておられるように、中学校から見た場合のメリットが少なく感じるが、町内の中学校間での教育活動や部活動などの連携を強化する、学習発表会を合同で行うなどの大胆な取り組みを進めても良いのではと思う。
- 【委員】答申内容を確認し、基本的には賛成の立場での意見になるが、京丹波町で子育てをする中で、限られた人間関係の中で育つことが大きな悩みであり、それは小中一貫校になったとしても同じである。広い人間関係の構築が、その後の人間形成に関わってくるので、他の中学校や小学校の同学年との交流が大事であると思う。そして、小中一貫校へ移行した後も、保護者や地域の皆さんが主体的に学校運営に関わっていける仕組みづくりができれば良いと思う。また、生徒の感想も聞き取っていただきたい。

【教育長】私も何度か検討委員会に参加させていただいたが、委員の皆さまには、本当に難しい課題に真摯に取り組んでいただいていると感じた。保護者や関係の皆さまが持つ様々な心配、懸念もしっかり受け止めたうえで、議論を重ねていただいた。京丹波町と同じ課題を抱える自治体の事例なども参考にしながら、京丹波町ならではの新しいスタイルの小中一貫校の姿を提案していただいた。教育委員会としても、今後、具体化していくために協議を図っていきたいと考える。

【町長】和知地区の小中学校のあり方について、検討委員会で6回にわたる真剣な議論をいただき、心から感謝を申し上げます。子どもたちをしっかりと守り、育てるという責任感を持ち、議論を重ねていただき、小中一貫校への移行が望ましいとの答申をいただいた。この答申を基にして、学校の設置者として、令和8年度から取り組みが可能なところから、速やかに取り組みたい。

(3) 閉会

松本教育長が、会議のまとめ及び閉会にあたってのあいさつを行った。

【教育長】本日の会議では、令和7年度の教育委員会関係事業について報告させていただくとともに、和知地区の小中学校のあり方検討委員会の答申内容について報告させていただき、意見をいただいた。委員の皆さまから、小中一貫校への移行について賛成のご意見をいただき、町長からは、学校の設置者として、小中一貫校への移行に向けて取り組むと発言いただいた。本日の総合教育会議において、和知地区において小中一貫校への移行に向けて取り組むことをご確認いただいたことを受けて、今後、教育委員会として、多くの皆様のご理解とご協力をいただき、京丹波町ならではの教育を進めていきたい。引き続き、ご指導をお願いする。

[閉会：午後3時25分]